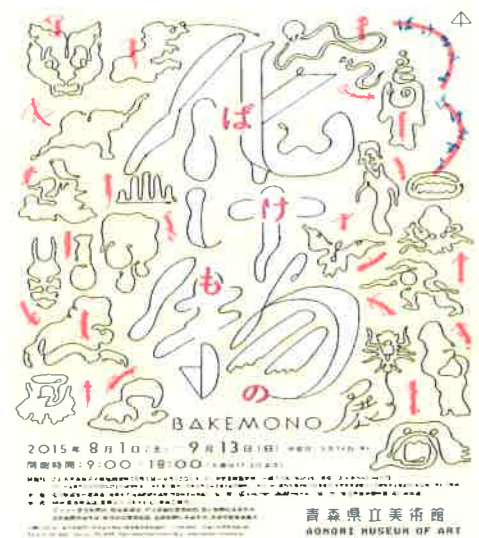


青森県立美術館へ出展

当寺の仏像、こんどは『化け物』展



観覧料
一般1,100(800) 高校・大学生540(440)円
小・中無料 ()は前売り券

「人間文化の進歩の道程において発明され創作されたいろいろの作品の中でも、「化け物」などは最もすぐれた傑作といわなければならぬ」(寺田寅彦「化物の進化」より)
昔から、そして今もなお人間を魅了し

城山の温故館
県立郷土館に続き
約二十体展示

わきみみず

お盆号

発行所 普門山 林泉寺
三戸町斗内字 寺牛25
〇一七九 二五二八五〇
啓誠

平成27年8月1日(土) - 9月13日(日) 休館日:8月24日(月)
開館時間:9:00-18:00 (入館は17:30まで)

人間文化の歴史であり、「化け物」の表現には、時代による差異性、その時代時代を生き抜いてきた人間たちの精神性が如実に繁栄され、信憑され、且つ畏れられてきた「化け物」という存在の表現をとおして、人間関係の親密な関係と「化け物」という「化け物」の意義を考察するもの、それではなぜ林泉寺の仏像が「化け物」

人間文化の歴史であり、「化け物」の表現には、時代による差異性、その時代時代を生き抜いてきた人間たちの精神性が如実に繁栄され、信憑され、且つ畏れられてきた「化け物」という存在の表現をとおして、人間関係の親密な関係と「化け物」という「化け物」の意義を考察するもの、それではなぜ林泉寺の仏像が「化け物」



青森県立美術館
AOMORI MUSEUM OF ART

絵図を立体化して、より一層リアリティにしましたのが林泉寺の仏像です。子供から大人まで「化け物」の存在を身近に体感してもらうための特別展です。現代を生きる私たちにとって、「お化け」とは一体どのような存在なのでしょう。あの、「アレコ」の背景画と同じ美術館に展示になるので、すよ。凄いですね。招待券があります。数に限りがありますので、ほしい方は早く申し出てください。

懺悔文

今までの自分のおこないを反省することば

我借所造諸悪業

皆由無始貧瞋痴

従身口意之所生

一切我今皆懺悔

「シリーズで、お経・偈文などの意味を少しづつ解説してききました。今回ご紹介するのは「懺悔文」という漢文です。この難しい漢字は、ふつう、「さんげ」と読んでいます。懺悔とは、今までにしてしまつた悪い行いを、自分からすんで仏さまの前で悔い改めて、反省することです。たとえ、もし自分が悪いことをしてしまつたとき、誰にも言わずに隠して

自分の心の中にある三つのよくない心が原因となり、身体と言葉と感情によつて起こりました。今、私はそれらすべてを反省して、これからはしないようにします。人間の中にある三つのよくない心とは、「あれもこれもと、何でも欲しがると、自分の思い通りにならないと、すぐにカッとなつてしまう怒りの心」、そして「物事のあり方や本当の自分というものを知らうとし

ない心」の三つです。この三つのよくない心のことを「煩惱」といいます。これは誰でも持っている心で、この煩惱によつて、人は悪い行いをしてしまうのです。曹洞宗ではこの懺悔文を唱えるのは、お坊さんになるための儀式である出家得度式や、檀信徒の方が参加する受戒会、そして、葬儀のときなど、さまざまの儀式ですが、その際には、はじめに必ず仏さまの前で、懺悔をしなければなりません。そのほかにも、檀信徒の方が仏壇にお参りをするときや、梅花講の勤行式でも、この懺悔文を唱えます。懺悔というのには、特別な時にするだけではなく、くりかえし行うことが大切だからです。

皆さんも、仏さまの前でこの懺悔文を唱えて、日ごろの自分の行いを反省して

